

落合かつひろ

これまでの主な取り組み

平成23年〈2011年〉4月～令和5年〈2023年〉1月



No.16

堅実な行政手腕、新たな課題への挑戦

◆シティプロモーション ～ 子育て世代の社会増

- ・平成27年3月の国道134号の4車線化や、さがみ縦貫道（圏央道）の全線開通、平成28年10月の「ららぽーと湘南平塚」開業を契機に、シティプロモーション指針を平成27年11月に策定。「都市イメージ向上」と「定住促進の魅力発信」を重点に情報発信を強化しています。
- ・人口の社会増減は、平成27年から令和4年までの間に、6,359人増を記録。転入超過は8年連続となり、去年は過去30年間で最多の1,676人でした。また、子育て世代（30、40代）の転入超過は10年で約4倍になりました。
- ・市民意識調査によると、平塚市に住み続けようと思う市民の割合が、令和4年度におよそ9割（89.8%）となり、平成26年度の83.0%から6.8ポイント増加しました。
- ・マンションの建設ラッシュを迎え、令和3年～6年に駅前や海岸地区を中心に約2,000戸が販売される予定です。

市民の皆さんの安心・安全を第一に考え、取り組んできた成果を2月まで、毎週火曜日に紹介していきます。

発行：令和5年1月31日